

〈香港駐在員生活サポートニュース〉

「香港の医療事情 ～公立病院と私立病院の違いについて～」

香港駐在員事務所

秘書 Haw Siu Yun, June

2014年の香港人の平均寿命は、男性 81.17 歳（世界 1 位）、女性 86.75 歳（世界 2 位）と、香港は日本と同様に世界有数の長寿の地域であり、この状況を支えているのは香港の高度な医療制度と盤石な財政基盤¹です。

香港の医療機関の形態は、多くの専門科をそろえる総合病院から小規模の診療所（クリニック）と様々で、いずれも公立と私立の施設があります。

公立の医療機関は、42 の病院、47 の専門診療所、73 の一般診療所で構成され、全て香港政府（医院管理局）によって運営・管理されています。一方、私立の医療機関としては、現在 11 つの病院が登録されていますが、これらの私立病院には最新の医療設備が備えられており、病院間で最新医療機器の導入を競う傾向も見受けられます。欧米に積極的に出向いて専門分野の技術向上に努めている医師も少なくありません。

今回のレポートでは、香港の医療事情の中から、公立病院（Public Hospitals）と私立病院（Private Hospitals）の違いについてご紹介します。

公立病院の特徴

香港における公立病院の医療水準は極めて高く、最先端の治療を少額の費用負担で受けられることが最大の特徴です。香港域内では、7 つの医療クラスター（集積地）が形成されており、どのクラスターでも、同水準・同範囲の医療サービスが提供されています。こうした医療クラスター制度が、24 時間体制の迅速な救急対応やコストの削減といった効率的なオペレーションを可能にしています。

香港政府が発行する ID カードの保有者（香港市民や香港に居住する外国人）であれば、1 日最大 100 香港ドル（約 1,500 円²）で公立病院を利用することができます。その診療内容には、外科手術（例：悪性腫瘍や心臓手術）や入院中の食事の費用も全て含まれています。

診察内容によっては、私立病院の 100 分の 1 程度のコストで治療が受けられることから、長期的な診療を必要とする患者や比較的症状の重い患者のほとんどは公立病院で受診しています。そのため、診察予約が取りにくい、待ち時間が長い（平均 3～4 時間）といった問題

¹ 2016～17 年度香港予算 によると、政府総支出は 4,869 億香港ドルのうち、保健支出は 776 億香港ドルに達します。

² 1 香港ドル=15.00 円で換算

が生じているのも事実です。

また、救急車を呼ぶ場合には、救急業務の効率性を優先する目的で、患者の希望は一切考慮されず最寄りの公立病院に運ばれることとなります。日本人が公立病院を避ける理由のひとつとして「言葉の問題」があげられますが、言葉が通じないからといって普段通院している私立病院に運んでくれるという訳ではないので注意が必要です。

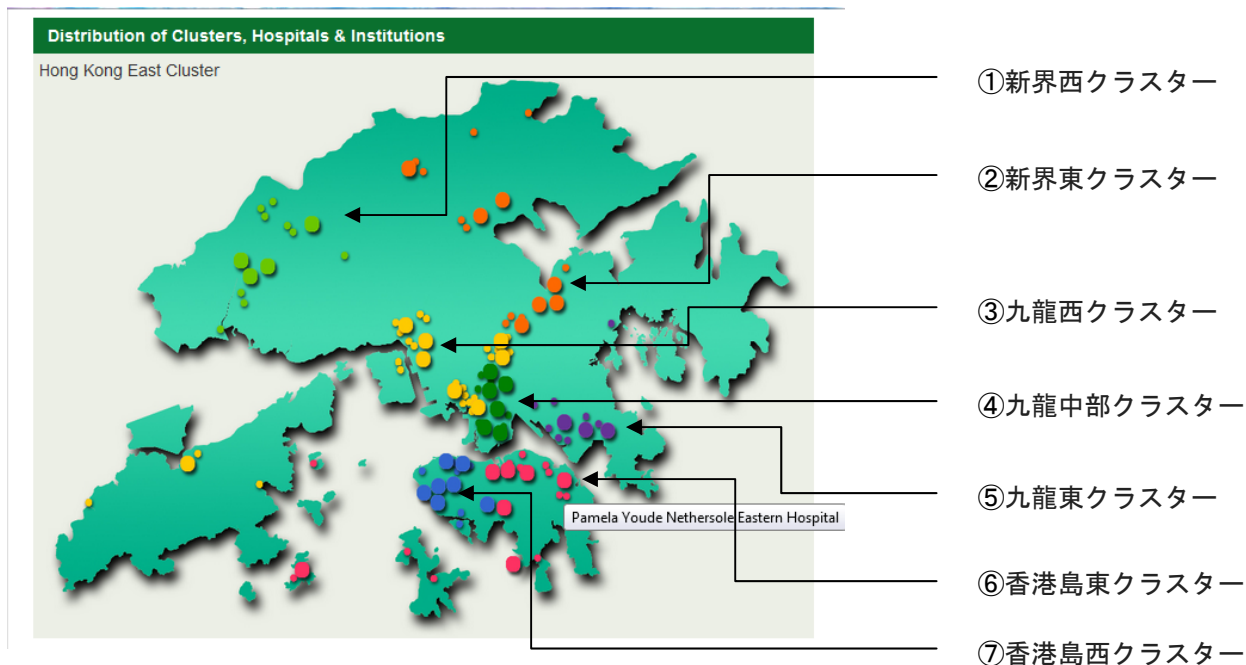
【公立病院 / Pamela Youde Nethersole Eastern Hospital (東區尤德夫人那打素医院)】



(出所：HOSPITAL AUTHORITY 医院管理局)

(出所：文匯報)

【充実した医療サービスを支える公共の各地域クラスター (24 時間体制)】



(出所：HOSPITAL AUTHORITY 医院管理局)

私立病院の特徴

日本人の多くが利用しているのが、私立総合病院やクリニックです。これらの医療機関では希望する時間に予約ができ、医師の選択も可能です。治療法に関しても患者の希望を取り入れてくれるなど公立病院に比べてその利便性はとても高いものと思われます。また、私立の医療機関の多くは日本語サービスに対応しており、この点は公立の医療機関にはない最大の利点となります。

一方、会社の団体保険等、手厚い医療保険に加入している場合を除き、医療費のほとんどは自己負担となります。そのため、ローカルの人々はあまり私立病院を利用していないのが実態です。入院した場合には、高額な医療費に加え入院費や薬代も負担しなければなりません。更に、入院する部屋のクラスによってはこれらの費用が大きく異なることがあるため、入院する場合には、予め保険会社と保険のカバー範囲について確認しておくことをお勧めします。

【私立病院 / Hong Kong Adventist Hospital (香港港安医院)】



(出所：同病院 HP)



(出所：東方日報)

【公立病院と私立病院の比較】

	メリット	デメリット
公立病院	<ul style="list-style-type: none"> ・高度な医療水準 ・低額な医療コスト(外科手術、入院中の費用含む) ・迅速な救急医療(24時間体制) 	<ul style="list-style-type: none"> ・予約の難しさ ・待ち時間の長さ ・日本語不可
私立病院	<ul style="list-style-type: none"> ・医師や治療法の選択可 ・一部日本語サービスの提供あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費は全額自己負担(保険未加入の場合) ・救急医療の非対応(深夜等)

(当事務所にて作成)

【医療サービス費用の比較表】

(単位：円 ※1 香港ドル=15.00 円で換算)

医療サービス費用の比較				
項目	公立		私立	
	Pamela Youde Nethersole Eastern Hospital 東區尤德夫人那打素医院		Hong Kong Adventist Hospital 香港港安医院	
風邪	診察料	1,500	診察料	6,000
出産	診察料	0	診察料	12,000 ~ 22,500
	入院代(自然分娩)4日	6,600	入院代(自然分娩)4日	322,500
	入院代(帝王切開)5日	8,250	入院代(帝王切開)5日	387,000
	(診察費、麻酔費、雑費等を含む)※薬代を除く		(診察費、麻酔費、雑費)※薬代等を除く	
手術	診察料	1,500	診察料	6,000
	扁桃線 切除手術 (手術と入院代(入院3日)を含む) ※薬代を除く	4,500	扁桃線 切除手術 (手術と入院代(入院3日)を含む) ※薬と雑費を除く	897,915

(当事務所にて作成)

以上、香港における公立病院と私立病院の違いについてお伝えして参りましたが、香港の医療水準は公立、私立ともに、非常に高い水準にありますので、安心して香港での生活をお過ごしいただけることと思います。

駐在員として香港へ赴任される際には、医療制度や海外旅行保険の内容等をしっかりとご確認のうえで、ご来港されてはいかがでしょうか。

以上